

2008年度 松山大学経営学部 開講科目



情報コース特殊講義
Webデザイン論

檀 裕也

(dan@cc.matsuyama-u.ac.jp)

<http://www.cc.matsuyama-u.ac.jp/~dan/>

前回の課題

- 今回の例題を完成させ、Webサーバにアップロードせよ。
 - 宛先: dan@cc.matsuyama-u.ac.jp
 - 件名: Webデザイン#13_課題
 - 本文: 公開URL
授業の感想など
 - URL: <http://www.cc.matsuyama-u.ac.jp/~1206xxxx/layout/>

今回の内容

- **CSSによるWebデザイン**
 - 段組レイアウト
 - 文書型宣言とブラウザの互換性

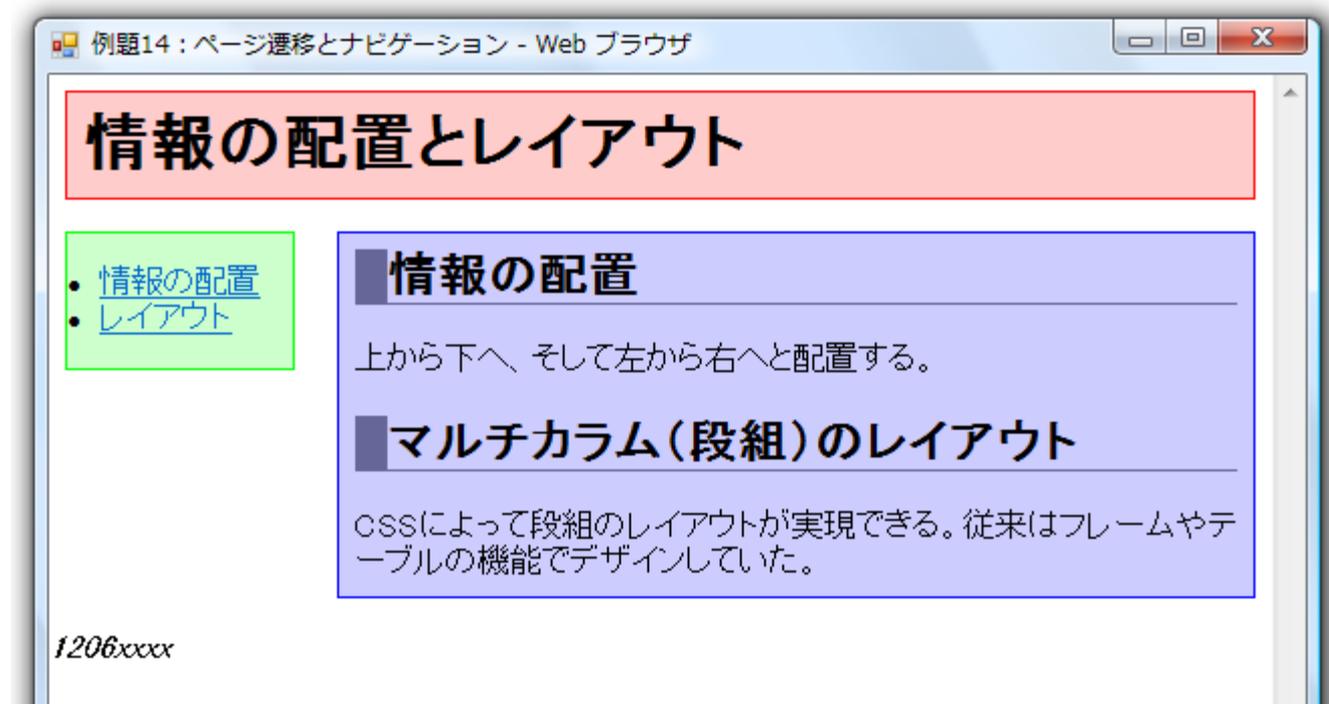
前回の例題に変更を加える

layout.html

```
<html>
<head>
<title>例題14： ページ遷移とナビゲーション</title>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="./d.css" />
</head>
<body>
<h1>情報の配置とレイアウト</h1>
<ul>
<li><a href="./layout1.html">情報の配置</a></li>
<li><a href="./layout2.html">レイアウト</a></li>
</ul>
<div id="main">
<h2>情報の配置</h2>
<p>上から下へ、そして左から右へと配置する。</p>
<h2>マルチカラム（段組）のレイアウト</h2>
<p>CSSによって段組のレイアウトが実現できる。
従来はフレームやテーブルの機能でデザインしていた。</p>
</div>
<address>1206xxxx</address>
</body>
</html>
```

表示例

- メニューにハイパーリンクを設定する



ファイルの準備

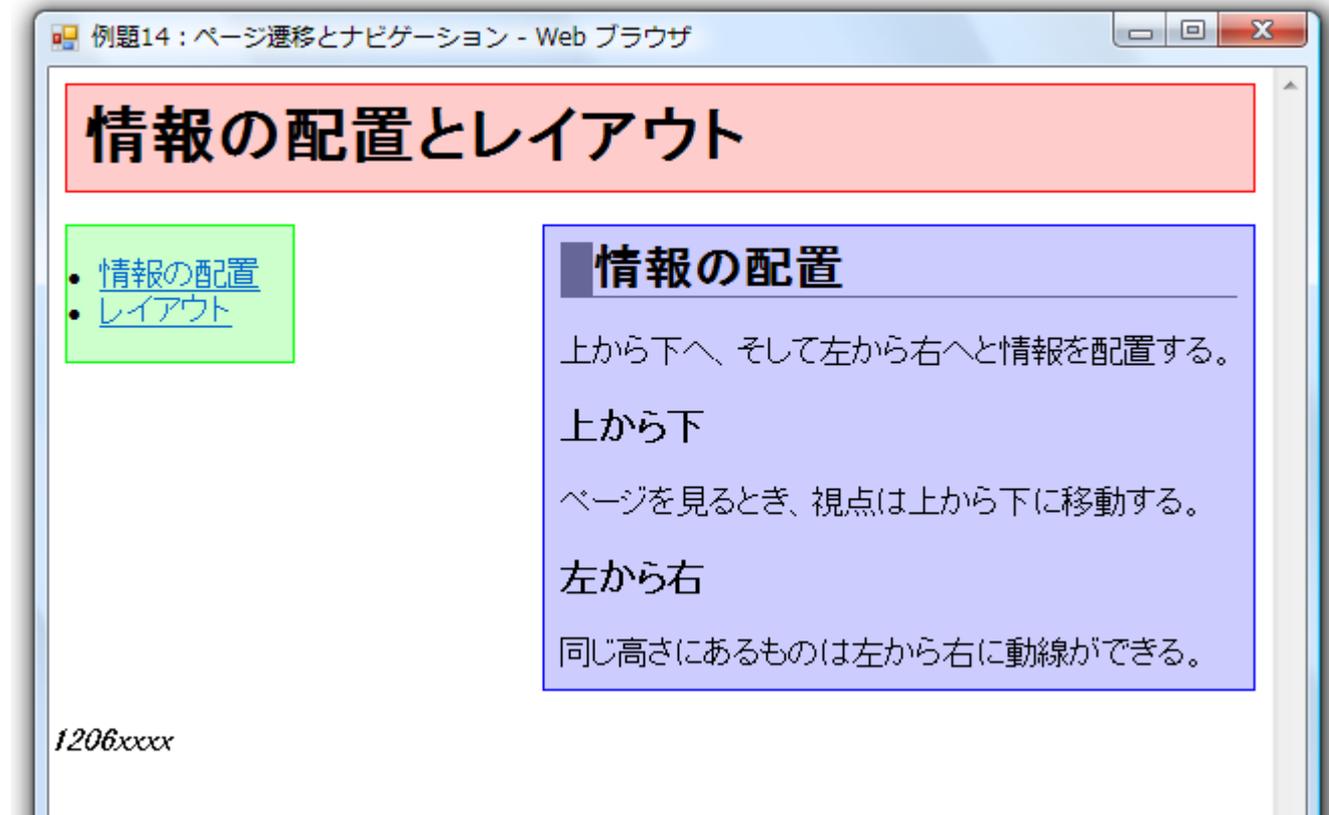
- **layout.html をコピーして**
 - layout1.html
 - layout2.html**を作成する。**

layout1.html

layout1.html

```
<html>
<head>
<title>例題14： ページ遷移とナビゲーション</title>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="./d.css" />
</head>
<body>
<h1>情報の配置とレイアウト</h1>
<ul>
<li><a href="./layout1.html">情報の配置</a></li>
<li><a href="./layout2.html">レイアウト</a></li>
</ul>
<div id="main">
<h2>情報の配置</h2>
<p>上から下へ、そして左から右へと情報を配置する。</p>
<h3>上から下</h3>
<p>ページを見るとき、視点は上から下に移動する。</p>
<h3>左から右</h3>
<p>同じ高さにあるものは左から右に動線ができる。</p>
</div>
<address>1206xxxx</address>
</body>
</html>
```

表示例

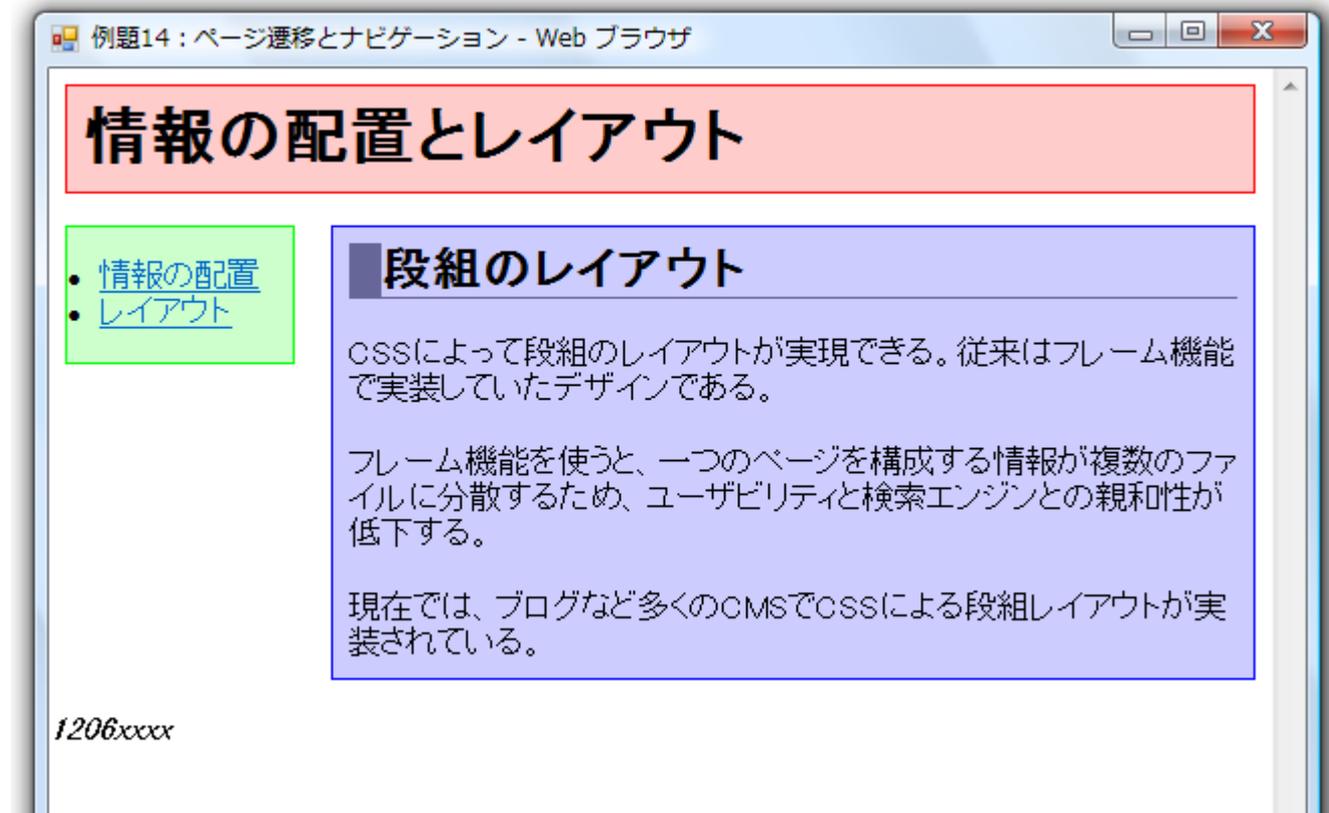


layout2.html

layout2.html

```
<html>
<head>
<title>例題14： ページ遷移とナビゲーション</title>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="./d.css" />
</head>
<body>
<h1>情報の配置とレイアウト</h1>
<ul>
<li><a href="./layout1.html">情報の配置</a></li>
<li><a href="./layout2.html">レイアウト</a></li>
</ul>
<div id="main">
<h2>段組のレイアウト</h2>
<p>CSSによって段組のレイアウトが実現できる。
従来はフレーム機能で実装していたデザインである。</p>
<p>フレーム機能を使うと、一つのページを構成する情報が複数のファイルに分散するため、ユーザビリティと検索エンジンとの親和性が低下する。</p>
<p>現在では、ブログなど多くのCMSでCSSによる段組レイアウトが実装されている。</p>
</div>
<address>1206xxxx</address>
</body>
</html>
```

表示例



d.cssへの変更 (1/3)

```
body {
```

```
  width: 644px;  
  color: #000000;  
  background: #FFFFFF;  
  margin: 0px;  
  padding: 0px;
```

```
}
```

```
h1 {
```

```
  margin: 8px;  
  padding: 8px;  
  border: 1px solid #ff0000;  
  background: #ffcccc;
```

```
}
```

```
h2 {
```

```
  border-left: 16px solid #666699;  
  border-bottom: 1px solid #666699;
```

```
}
```

d.css

d.cssへの変更 (2/3)

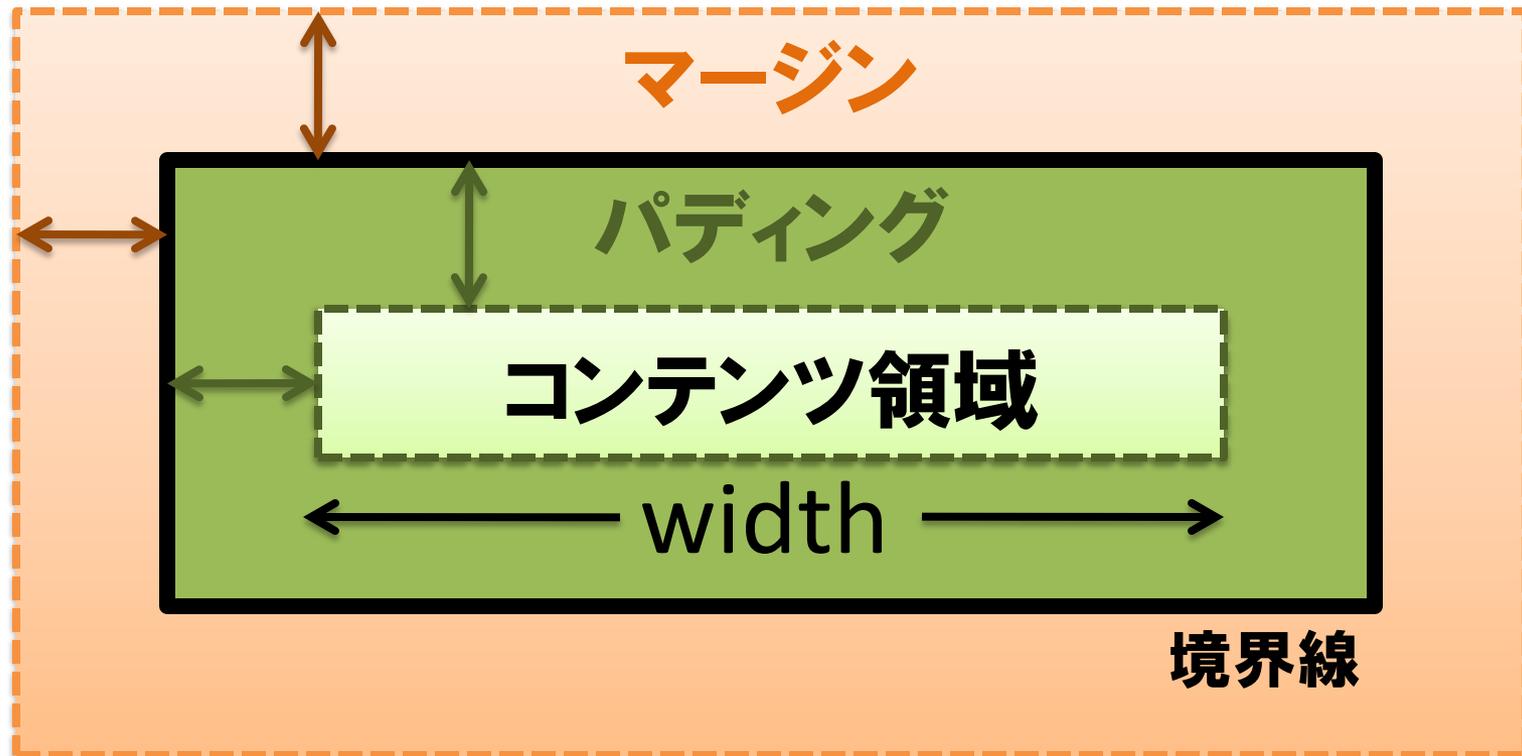
```
ul {  
    float: left;  
    width: 160px;  
    margin: 8px;  
    padding: 16px;  
    border: 1px solid #00ff00;  
    background: #ccffcc;  
}  
div#main {  
    float: right;  
    width: 400px;  
    margin: 8px;  
    padding: 8px;  
    border: 1px solid #0000ff;  
    background: #ccccff;  
}  
address {
```

d.cssへの変更 (3/3)

```
clear: both;  
}
```

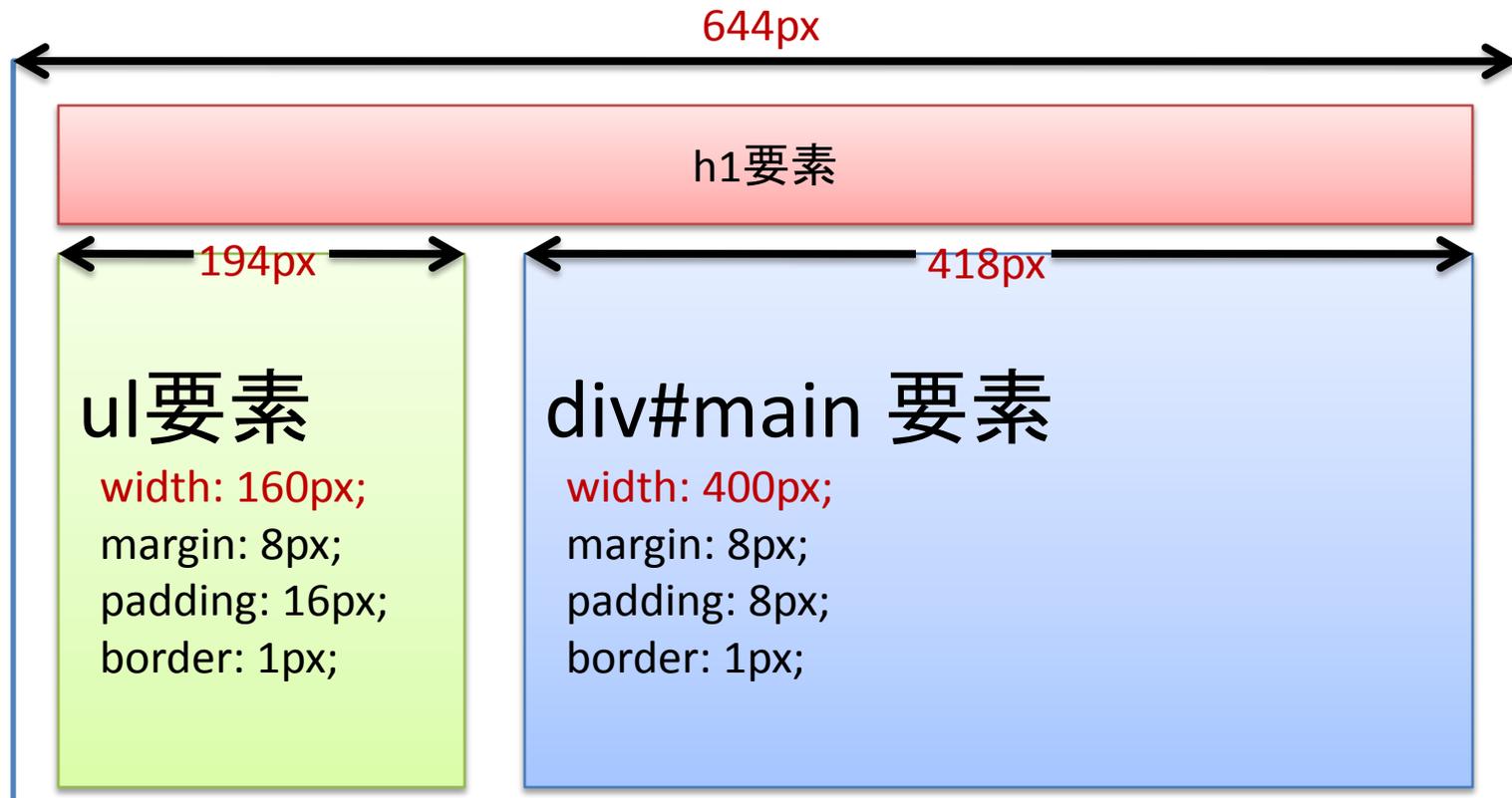
ボックスモデル (2)

- HTMLの要素に与えられた基本的な視覚表現
 - コンテンツ領域・パディング・マージン・境界線



横幅

- 横幅 = コンテンツ領域 + パディング + 境界線

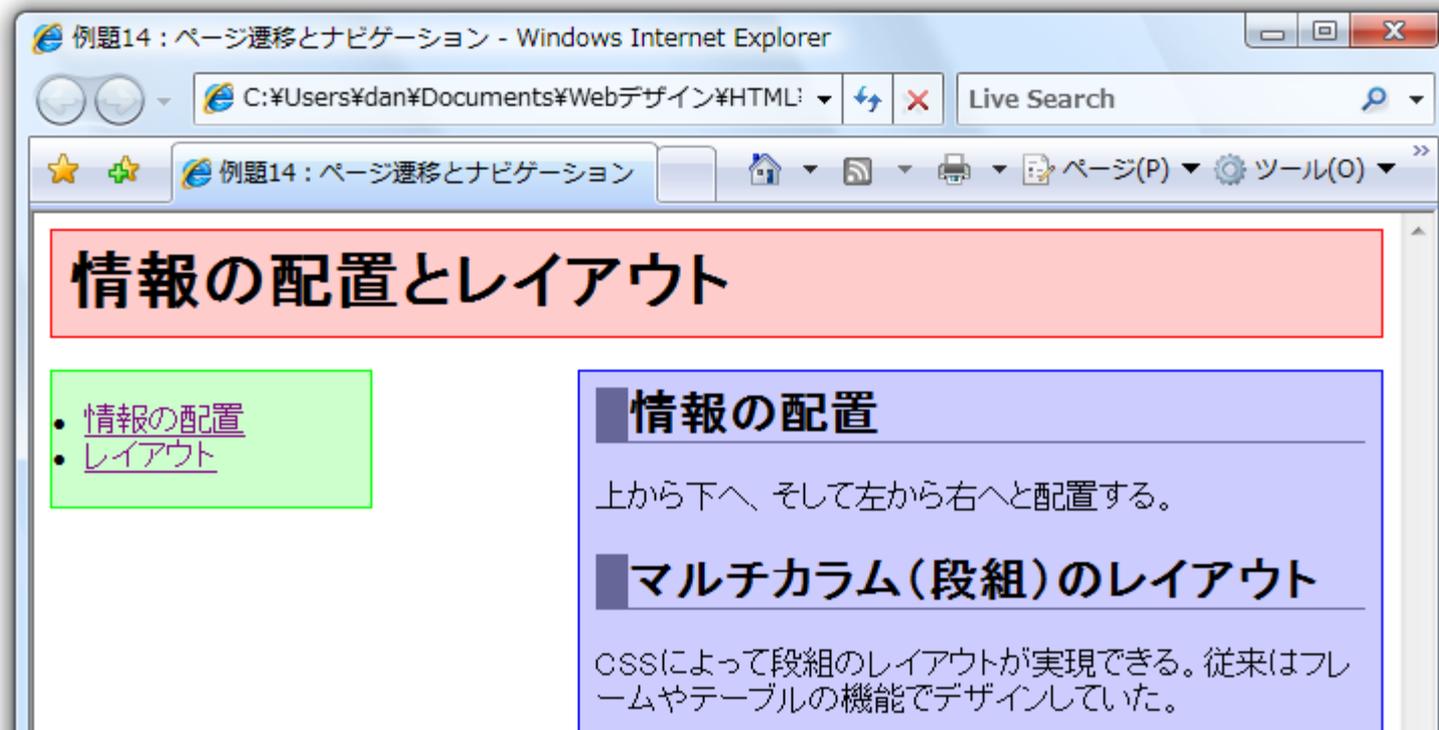


表示例



- ◆ [情報の配置](#)
- ◆ [レイアウト](#)

1206xxxx



- [情報の配置](#)
- [レイアウト](#)

情報の配置

上から下へ、そして左から右へと配置する。

マルチカラム(段組)のレイアウト

CSSによって段組のレイアウトが実現できる。従来はフレームやテーブルの機能でデザインしていた。

1206xxxx

2008年 6月 2日

文書型宣言

- HTML文書の冒頭で、文書型を宣言する
- Web標準に従って記述する
 - HTML 4.01
 - XHTML 1.0
 - XHTML 1.1
- IEの場合、文書型宣言がないときは、後方互換モードでレンダリングする

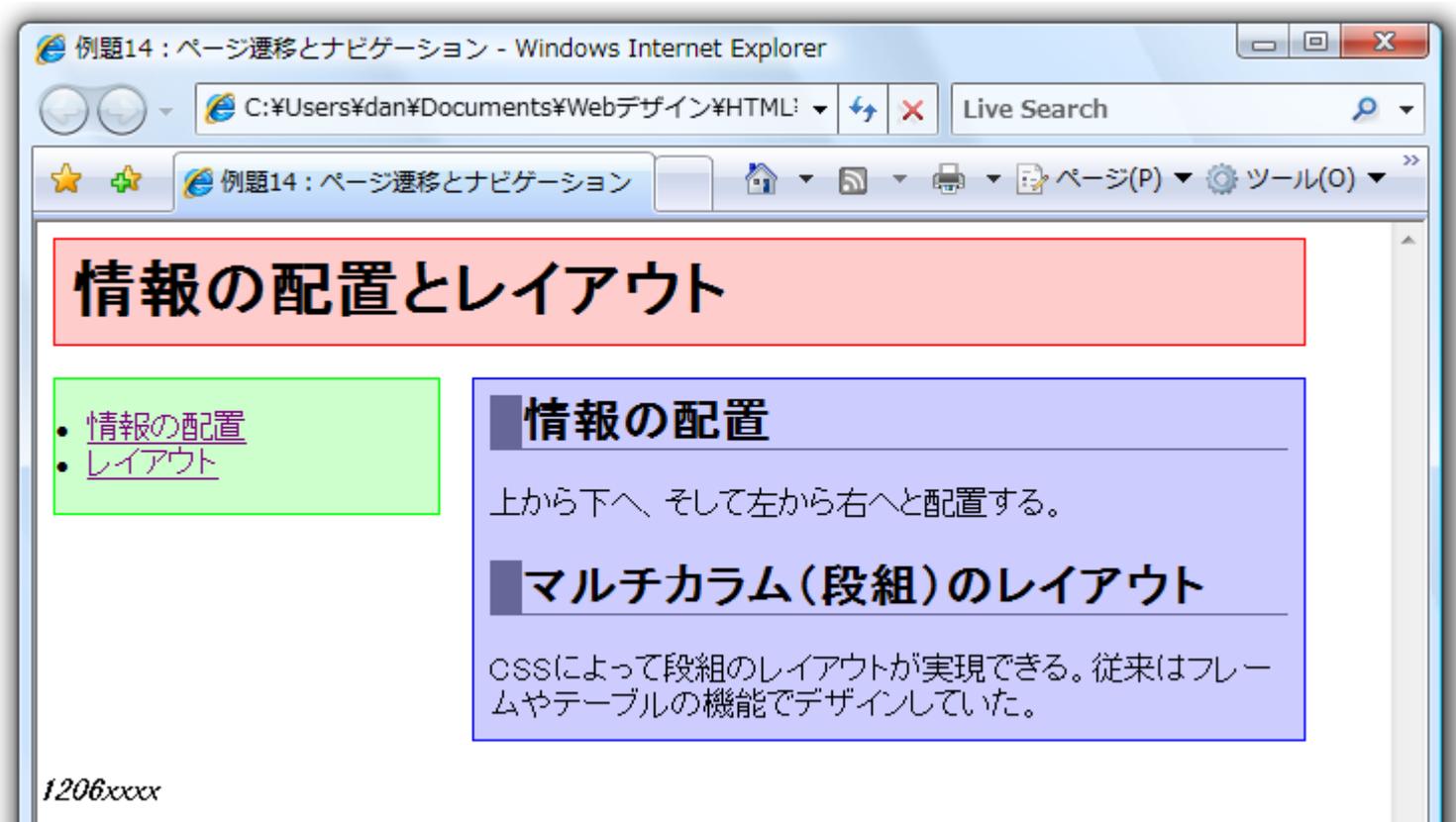
HTMLファイルへの追加（共通）

- 冒頭で文書型 (XHTML 1.0) の宣言をする

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
<head>
<title>例題14： ページ遷移とナビゲーション</title>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="./d.css" />
</head>
<body>
<h1>情報の配置とレイアウト</h1>
<ul>
<li><a href="./layout1.html">情報の配置</a></li>
<li><a href="./layout2.html">レイアウト</a></li>
</ul>
...
```

表示例

- 正しくレンダリングされる



まとめ

- **CSSによるWebデザイン**
 - 段組レイアウト
 - 文書型宣言とブラウザの互換性

提出物

- 今回の例題を完成させ、Webサーバにアップロードせよ。
 - 宛先: dan@cc.matsuyama-u.ac.jp
 - 件名: Webデザイン#14_課題
 - 本文: 公開URL
授業の感想など
 - URL: <http://www.cc.matsuyama-u.ac.jp/~1206xxxx/layout2/>

次回の予定

- **第15回 CSSによるWebデザイン
「ページ遷移とナビゲーション」**
 - **2008年 6月 4日(水) 5時限目**
 - **870教室**